

AI (人工知能) による食道疾患内視鏡画像の自動診断システム作成

1. 研究の対象

平成 12 年 4 月以降に、当院か共同研究施設で上部内視鏡検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、食道に発生する各種の悪性腫瘍や良性疾患の内視鏡画像を高精度で診断する、AI 診断システムを作成する事です。食道に発生する各種の悪性腫瘍や良性疾患は、一般的に早期に発見されるほど低侵襲な治療が適応でき、予後も良好です。近年ディープラーニング機能を持った AI が皮膚科や消化器内視鏡領域において専門医と同等の画像診断能力を発揮する事が発表されました。今後も AI の内視鏡画像診断能力があらゆる領域で役立つことが期待されます。食道疾患を高精度で診断できる AI 診断システムが作成できれば、この疾患を持つ患者の予後や治療後 QOL の向上が期待できます。

そこで今回私たちは電子カルテシステムおよび内視鏡画像サーバーから、食道疾患を持つ患者さまの診断情報、治療情報、内視鏡画像を調査させて頂き、必要な情報を AI に学習させることで、実際の医療現場において役立つ食道疾患内視鏡画像の自動診断システムを作り出せるか検証します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、内視鏡所見、内視鏡画像 等

試料：なし

4. 外部への試料・情報の提供

データ上ではすべての患者様は匿名化（任意の識別番号を付与）されており、患者さまのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありません。なお、この研究で得られた情報は、データセンターである株式会社 AI メディカルサービスへ、患者様個人がいっさい特定されない形で提供させていただき、ともに解析を行う予定です。

5. 研究組織

医療法人ただともひろ胃腸科肛門科(代表者:多田智裕)

国立大阪医療センター(代表者:赤坂智史)

川崎医科大学総合医療センター(代表者:眞部紀明)

新潟大学医学部付属病院(代表者:寺井崇二)

福岡大学筑紫病院(代表者:小野陽一郎)

適時、追加予定

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 消化管内科 主任部長 石原立

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：消化管内科 主任部長 石原立

研究代表者：消化管内科 主任部長 石原立

以上